

美郷町水道事業経営戦略【令和7年度概要版】

～令和7年度～令和16年度（計画期間：10年間）～

1. 見直しの趣旨・目的 -

前回の経営戦略策定から概ね10年が経過したため、経営戦略の見直しを行い、更なる経営基盤強化に取り組むものです。

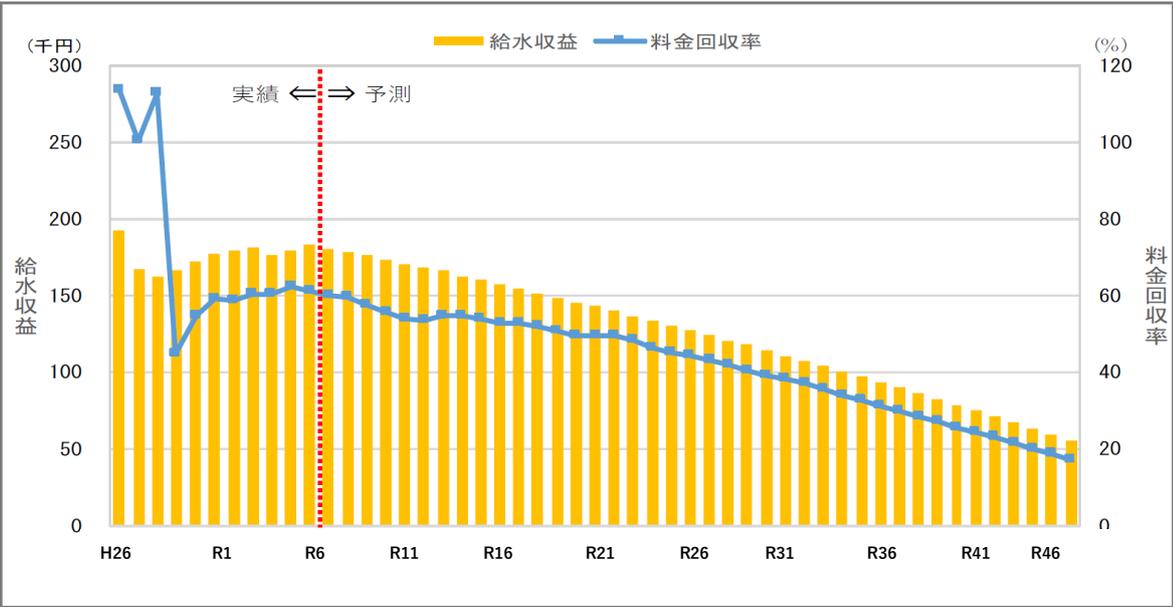
2. 現状の経営状況

類似団体平均と比較すると、供給単価はおおむね平均的な水準にあるものの、料金回収率および給水原価に関する指標については、いずれも悪化傾向を示しています。今後、料金改定を行わない場合、給水人口の減少に伴い給水収益の減少が見込まれ、これにより料金回収率のさらなる低下が懸念されます。このため、早急な料金改定の検討が必要となります。

表1 経営指標について類似団体との比較

事業	経営指標						老朽化指標	
	料金回収率		給水原価		供給単価		経年化率	
	美郷町	類似団体	美郷町	類似団体	美郷町	類似団体	美郷町	類似団体
水道	60.3%	90.9%	275.1 円/㎡	197.4 円/㎡	171.0 円/㎡	176.4 円/㎡	5.83%	22.12%

図1 給水収益と料金回収率の見通し



3. 財政に関する事項 -財政収支見通し-

財政シミュレーションを3ケース設定し、将来収支の予測を行いました。シミュレーションごとの年度別純損益と資金残高、年度別給水原価・供給単価・給水収益の推移については次ページ図2～4になります。

表2 財政シミュレーションの検討ケース

	料金改定	収益的収支 (純損益)	資本的収支 (資金残高)	判定	備考
①	なし	R9年度以降赤字	R17年度以降赤字	×	
②	R9年以降5年ごと20%	黒字	200,000千円確保	△	供給単価44%増 (R9-R18)
③	R9年度30%以降5年ごとに値上げ率見直し	黒字	200,000千円確保	○	供給単価30%増 (R9-R18)

図2 ケース①収益的収支、給水原価・供給単価・給水収益の推移

①料金改定しない場合

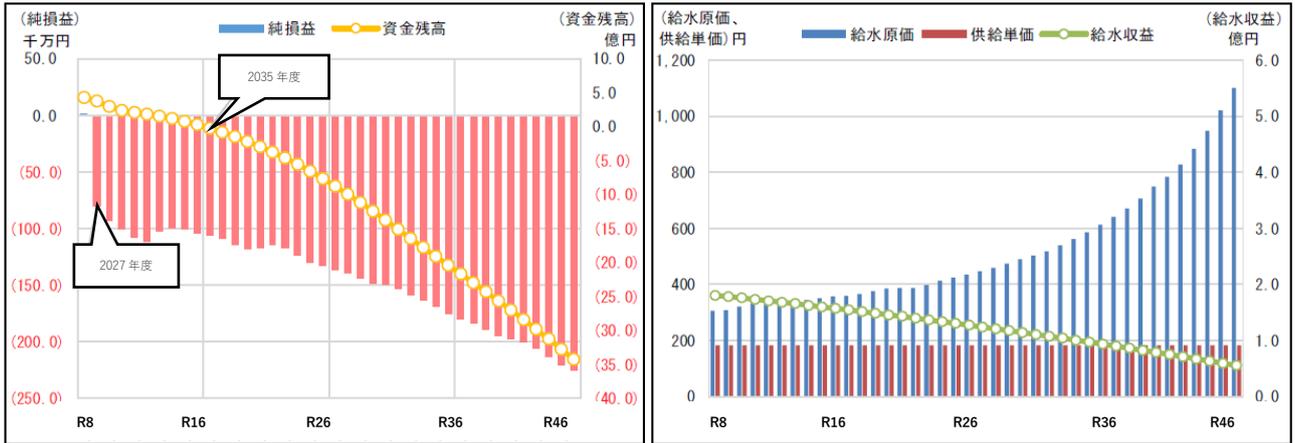


図3 ケース②収益的収支、給水原価・供給単価・給水収益の推移

②令和9年度以降5年ごとに20%値上げする場合

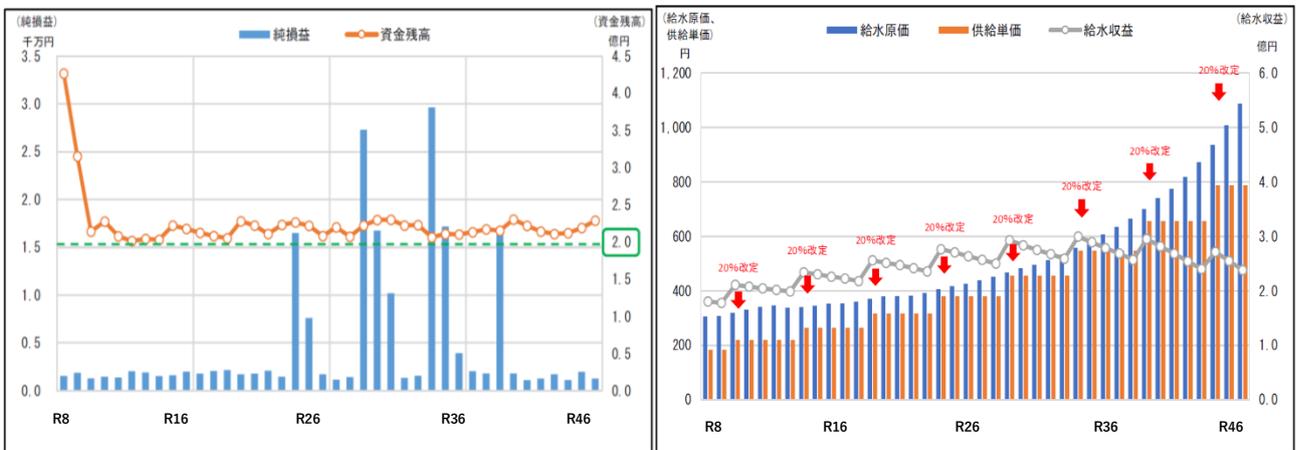
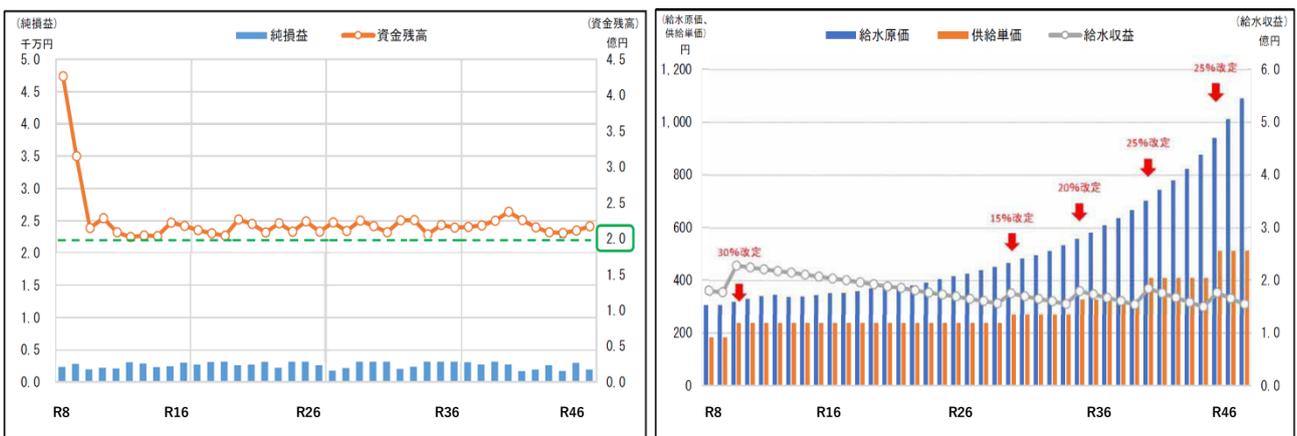


図4 ケース③収益的収支、給水原価・供給単価・給水収益の推移

③令和9年度に30%値上げし、5年ごとに値上げ率を見直し



4. まとめ-

以上から、財政収支シミュレーション②、③の場合は、水道事業の経営が維持できる結果となりました。③は②と比較して供給単価の上昇率が緩やかになっています。なお、実際の料金見直しの検討に当たっては、最新の決算状況の把握と料金算定期間における適切な投資とその財源を見込んだうえで、料金改定の要否を判断する必要があります。